

2024年度 事業実績

独立行政法人 国際協力機構
北海道センター（帯広）



【目次】

- ・ 事業実績概要 1ページ
- ・ 研修員受入事業 2～5ページ
- ・ 草の根技術協力事業、中小企業・SDGsビジネス支援事業、
世界の人びとのためのJICA基金活用事業 6ページ
- ・ 開発教育支援事業 7～9ページ
- ・ セミナー・イベント等 10～11ページ
- ・ ボランティア事業 12ページ

2024年度 JICA北海道(帯広) 事業実績概要

● 研修事業※

※草の根技術協力案件を除く。国別枠及び有償枠による課題別又は国別研修への参加者は「国別」として整理。
長期()は前年度からの継続人数で内数。

	課題別	国別	長期	日系	青年	合計
コース数	17	7	21	0	1	46

	課題別	国別	長期	日系	青年	合計
参加人数	167	57	37	0	9	270

● 草の根技術協力

	パートナー型	地域提案型	支援型	合計
プロジェクト数	3	3	3	9
専門家派遣人数	9	34	7	50
研修員受入人数	0	23	0	23

※地域提案型＝地域(経済)活性化特別枠を含む

● 開発教育支援事業

	出前講座	センター訪問	小中高生国際協力プログラム	開発教育指導者研修	教師海外研修	研修員学校訪問
参加者数	1,436	2,242	33	39	18	939

● 世界の人びとのためのJICA基金活用事業

案件数
2

● JICA海外協力隊事業

形態	派遣国	派遣人数
青年海外協力隊	9	12
シニア海外協力隊	0	0
日系社会青年海外協力隊	2	2
日系社会シニア海外協力隊	0	0
合計	11	14

研修事業実績

● 社会基盤整備

開発途上国では都市開発、道路、上下水道等の社会基盤の整備が遅れているために、国の経済発展だけではなく、これらの施設、そして社会基盤のシステムが持続的に機能するために必要な人づくり、制度づくりも支援しています。JICA北海道(帯広)では、国土交通省北海道開発局 帯広開発建設部や、地域の地熱掘削専門学校などのノウハウを活用して、途上国の多くのニーズに対応した研修を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	灌漑施設の維持・運営管理	課題別	12	エジプト、ガーナ、ケニア、モロッコ、モザンビーク(2)、タンザニア、ウガンダ、ジンバブエ(2)、フィリピン(2)	とかち機構	24.6.16-24.7.26
2	地熱掘削運営管理	課題別	6	ジブチ(2)、タンザニア(4)	とかち機構	24.11.26-24.12.14

● 環境

開発途上国では、人々が貧困のために自然環境を破壊し、そのことがますます貧困を深刻化していくという環境劣化と貧困の悪循環が起きています。また、人間の活動全般から発生する環境への負荷(悪影響)を減らし、持続可能な消費と生産が可能となる社会の仕組みづくりを行うことが重要な課題となっています。JICAは開発途上国の自然環境保全に取り組むとともに、水質汚染対策、廃棄物処理等の分野で支援を行っています。JICA北海道(帯広)では、道内の森林管理のノウハウや地方自治体の都市環境対策の経験を活かした研修を積極的に行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	中央アジア国別 地域振興に寄与するエコツーリズム等の持続可能な湿地資源の利用	国別	8	ウズベキスタン(3)、カザフスタン(3)、タジキスタン(2)	自然環境研究センター	24.8.18-24.9.5
2	地域住民の参加による持続的な森林管理	課題別	9	フィリピン(2)、ネパール(2)、ペルー、ウガンダ(2)、コンゴ民主共和国(2)	アジア航測株式会社	24.9.11-24.11.20
3	湿地生態系における自然を活用した社会課題の解決(ネイチャーポジティブな社会の実現に向けて)	課題別	5	コスタリカ、グアテマラ、メキシコ、ニカラグア、パナマ	釧路国際ウェットランドセンター	24.9.30-24.11.13
4	持続的森林管理及び生物多様性保全(担当クラス)(インド)	国別	12	インド	アジア航測株式会社	24.7.25-24.8.17
5	自然環境行政官向けのエコツーリズム	課題別	8	東ティモール、ベトナム、インド、フィジー、ガボン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、アルバニア	KIWC	24.5.19-24.6.21

● 保健医療

基本的な保健医療サービスが提供されれば簡単に予防・治療できる程度の病気やお産などで、今も開発途上国を中心に多くの尊い命が失われています。JICAは「感染症対策」「母子保健」「保健システム」などの分野において、開発途上国の保健・医療の充実に取り組んでいます。JICA北海道では、道内の僻地における公衆衛生の改善の経験等を活かして、母子保健や保健行政人材の育成等を行っています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	母子栄養改善	課題別	12	アンゴラ、コンゴ共和国、エクアドル、ガーナ、インドネシア、マーシャル、ナイジェリア、パキスタン、フィリピン、ルワンダ、シエラレオネ、東ティモール	公益財団法人ジョイセフ	(来日)24.9.21-24.10.19 (遠隔)24.12.14-24.12.17

● 地域振興・地域開発行政

急激に都市化が進む都市部と、開発から遅れた地方部の経済格差が開発途上国では拡大しています。こうした格差を是正するとともに、それぞれ固有の問題を解決するためにJICA北海道では、北海道で培われた地域総合開発の経験や地域リソースを活用した地域振興を目的として、開発途上国の行政官等を対象に、課題解決に向けた人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	パキスタン国別 ハイバル・パフトゥンハー州新併合地域の地方行政官能力強化	国別	11	パキスタン	オリエンタルコンサルタンツグローバル	24.11.11-24.11.19

● 農林水産業等

農林水産業は、自国で必要とされる食糧を安定的かつ安全に供給する役割・期待を担っています。とりわけ、開発途上国においては主要産業として重要です。JICA北海道では、北海道における農村のリソースを活用した地域振興や持続可能な開発につながる資源の有効利用に関する北海道の経験・知見を活かして、人材育成を支援しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	ブラジル国別 アグリフードチェーンにおけるイノベーション・エコシステム及び持続可能性強化のための精密・デジタル農業(第1回技術研修)	国別	6	ブラジル	内包化	24.8.26-24.9.7
2	アジア地域 市場志向型農業振興(行政官)A	課題別	20	フィリピン(3)、バングラデシュ(3)、パキスタン(4)、パプアニューギニア(2)、ブータン(2)、インド、モルディブ(2)、スリランカ(3)	十勝インターナショナル協会	24.8.26-24.9.13
3	アジア地域 市場志向型農業振興(行政官)B	課題別	20	カンボジア(4)、ラオス(2)、ベトナム(3)、モンゴル(3)、ネパール(2)、タジキスタン(4)、ミャンマー(2)	十勝インターナショナル協会	24.7.22-24.8.9
4	ナミビア国別 北部ナミビア小規模農家生計向上プロジェクト	国別	10	ナミビア	とかち機構	24.10.14-24.11.2
5	CIS諸国、モンゴル向け持続的アグリビジネス経営管理	課題別	6	カザフスタン(2)、キルギス(2)、タジキスタン、ウズベキスタン	インサイトマネジメント株式会社	25.1.14-25.1.31
6	アジア地域 フードバリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興	課題別	8	カンボジア、ラオス、東ティモール、ベトナム、バングラデシュ、ネパール、ベトナム、フィリピン	十勝インターナショナル協会	24.10.9-24.11.8
7	小規模農家の生計向上のための持続的な畜産バリューチェーンの構築	課題別	8	パキスタン、エリトリア、ナミビア、モーリタニア、キルギス、モンゴル、マダガスカル、マリ	帯広畜産大学	24.5.28-24.6.5(遠隔) 24.6.27-24.7.31(来日)
8	アラブ圏市場志向型農業振興(行政官)	課題別	11	エジプト(9)、スーダン(2)	十勝インターナショナル協会	25.1.8-25.1.25(来日) 25.1.26-25.2.4(エジプト)
9	畜産現場における感染症対策と獣医療サービスの強化	課題別	6	サモア、パレスチナ、スーダン、モンゴル、パラグアイ	十勝インターナショナル協会	25.9.2-25.9.30(遠隔) 25.10.10-25.11.7(来日)
10	持続可能な食料システム戦略による地場産業振興	課題別	8	バハマ、エリトリア、マレーシア、北マケドニア共和国、トルコ、ベトナム、キューバ(2)	インサイトマネジメント株式会社	24.9.9-24.10.12
11	人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化	課題別	8	アルゼンチン(2)、マリ、フィリピン、ウガンダ、モンゴル(2)、パレスチナ	帯広畜産大学	24.11.4-24.12.2(遠隔) 25.2.2-25.4.26(来日)
12	畜産物(乳・肉・卵)の安全・衛生・品質管理技術強化	課題別	9	バングラデシュ、インド、スリランカ、アルゼンチン(2)、ウルグアイ、エリトリア、ナイジェリア、モザンビーク	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	25.2.17-25.4.24
13	マレーシア国別 動物を原料とした食品衛生強化を通じた地域産業開発	国別	8	マレーシア	一般社団法人とかち地域活性化支援機構	24.10.15-24.11.1
14	SATREPS ボリビア 高栄養価作物キヌアのレジリエンス強化生産技術の開発と普及	国別	2	ボリビア	帯広畜産大学	24.10.21-24.11.16

● 教育

JICAは、世界中のすべての人々が教育を受けられるという目標に向かって、開発途上国における基礎教育の普及に取り組んでいます。JICA北海道でも、北海道の教育関係者との意見交換や実際の学校現場への訪問等、北海道の教育行政や学校教育の知恵と経験を活かした研修を実施しています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	小学校理科教育の質的向上～「教えと学び」の現場教育～	課題別	11	バングラデシュ(2)、カンボジア、エスワティニ、モンゴル、ナイジェリア、パレスチナ、パプアニューギニア、南アフリカ共和国、イエメン、ザンビア	十勝インターナショナル協会	24.10.23-24.12.10

● 青年研修

開発途上国の青年が、それぞれの国で必要とされている分野の基礎的な研修を通じ、将来の国づくりを担う人材となってくれることを目的とする事業で、地方自治体、地域のNGO、その他国際協力関連団体との連携で実施されています。地域の市民が、国際協力に参加、相互理解を深める重要な機会にもなっています。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	研修期間
1	ラオス青年 地方行政・地域開発(地方行政)	青年	9	ラオス	とかち機構	24.11.13-24.12.4

● 長期研修

開発途上国の発展には高度な専門知識を持った人材の育成が各分野で必要とされています。特に産業を発展させる工学、地球規模の課題である環境管理等の高度人材の育成は、社会、経済、環境のバランスを取りつつ発展する持続可能な開発目標の達成には不可欠です。長期研修は開発途上国の高度人材が本邦の大学での学位取得を支援することで、対象国の人材育成を行うプログラムです。また、プログラムを通じ、日本の大学、産業界と途上国の高度人材との連携を促進します。

No	コース名	形態	人数	参加国	研修関係機関	受入期間
1	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2024～2026年度)・2025春・北見工業大学工学研究科・博士	大学連携方式	1	エチオピア	北見工業大学	25.4.1-28.3.31
2	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2024～2026年度)・2025春・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	3	ガーナ、モンゴル、フィリピン	北見工業大学	25.4.1-27.3.31
3	(連携方式)SDGsグローバルリーダー(2024-2026年度)(アフリカ)・2024年度・北見工業大学大学院工学研究科・修士	大学連携方式	1	スーダン	北見工業大学	24.10.1-26.9.30
4	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2023年度・北見工業大学工学研究科・博士	大学連携方式	1	インドネシア	北見工業大学	24.4.1-27.3.31
5	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2023年度・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	1	モンゴル	北見工業大学	24.4.1-26.3.31
6	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2023年度・第10バッチ・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	1	コートジボワール	北見工業大学	23.10.1-26.9.30
7	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2022年度・北見工業大学工学研究科・修士	大学連携方式	1	ネパール	北見工業大学	23.4.1-25.9.30
		大学連携方式	2	エチオピア、ケニア	北見工業大学	23.4.1-25.3.31
8	(連携方式)道路アセットマネジメント技術の中核人材育成(2021～2023年度)・2021年度・北見工業大学工学研究科・博士	大学連携方式	1	エチオピア	北見工業大学	22.4.1-25.3.31
9	(連携方式)ABEイニシアティブ(2021～2023年度)・2022年度・第9バッチ・帯広畜産大学畜産学研究科・修士	大学連携方式	3	ケニア、モザンビーク、ルワンダ	帯広畜産大学	22.10.5-25.9.30

10	(連携方式) ABEイニシアティブ (2021～2023年度)・2023年度・第 10バッチ・帯広畜産大学畜産学研 究科・修士	大学連携方式	2	ガーナ、ナイジェリア	帯広畜産大学	23.9.19-26.9.30
11	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2021～2023年度)(アフリ カ)・2022年度・帯広畜産大学畜産 学研究科・博士	大学連携方式	2	ケニア、マラウイ	帯広畜産大学	22.10.5-26.3.31
12	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2021～2023年度)(アフリ カ)・2023年度・帯広畜産大学畜産 学研究科・修士	大学連携方式	1	南スーダン	帯広畜産大学	23.9.26-25.9.30
13	(連携方式) SDGs グローバルリー ダー(2024-2026年度)(中南米)・ 2024年度・帯広畜産大学畜産学研 究科・修士	大学連携方式	1	ボリビア	帯広畜産大学	24.9.22-27.3.31
14	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2024-2026年度)(アフリカ)・ 2024年度・帯広畜産大学畜産学研 究科・修士	大学連携方式	2	マダガスカル、南スーダン	帯広畜産大学	24.9.22-27.3.31
15	(連携方式) SDGsグローバルリー ダー(2024-2026年度)(アフリカ)・ 2024年度・帯広畜産大学畜産学研 究科・博士	大学連携方式	2	ケニア、ギニア	帯広畜産大学	24.9.22-29.3.31
16	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net) 2020・帯広畜産大学畜産学研究 科・博士	大学連携方式	1	パラグアイ	帯広畜産大学	20.12.2-24.10.13
17	(連携方式) 食糧安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2021年度・帯広畜産大 学(博士課程)	大学連携方式	1	ミャンマー	帯広畜産大学	21.11.26-24.10.6
18	(連携方式) 食糧安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021～ 2023年度)・2022年度・帯広畜産大 学(博士課程)	大学連携方式	2	キューバ、ルワンダ	帯広畜産大学	22.10.1-2026.3.31
		大学連携方式	2	ラオス、パラグアイ	帯広畜産大学	22.10.1-25.3.31
19	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2021- 2023年度)・2023年度・帯広畜産大 学畜産学研究科・修士	大学連携方式	1	ナミビア	帯広畜産大学	23.10.1-26.3.31
		大学連携方式	2	インドネシア、東ティモール	帯広畜産大学	23.10.1-27.3.31
		大学連携方式	1	ザンビア	帯広畜産大学	23.10.1-28.3.31
20	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2024- 2026年度)・2024年度・帯広畜産大 学 畜産学研究科・博士・3年	大学連携方式	1	コンゴ民主共和国	帯広畜産大学	24.9.21-28.9.30
21	(連携方式) 食料安全保障のための 農学ネットワーク(Agri-Net)(2024- 2026年度)・2024年度・帯広畜産大 学 畜産学研究科・博士・4年	大学連携方式	1	マラウイ	帯広畜産大学	24.9.26-28.3.31

草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGO、大学、地方自治体等がこれまで培ってきた経験や技術を活かして企画した、開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ分野の草の根レベルの協力活動をJICAが支援し、共同で実施する事業です。

● パートナー型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績 （長期滞在）
					人数	人数
1	キルギス国立農業大学における土壌・作物分析技術人材育成プロジェクト（草の根パートナー型）	キルギス	キルギス国立農業大学他	アグリプロジェクト株式会社	0	4
2	パラグアイ国パラグアイ酪農の持続可能な発展を目指すネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト	パラグアイ	パラグアイ生産者組合連合	国立大学法人 北海道国立大学機構帯広畜産大学	0	4
3	ウガンダ国マダニ媒介感染症制御による畜産農家支援プログラム	ウガンダ	マケレレ大学獣医学部	国立大学法人 北海道国立大学機構帯広畜産大学	0	0（1）

● 地域提案型（地域（経済）活性化特別枠を含む）

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績
					人数	人数
1	モンゴル国路床の凍上性に着目したウランバートル市内における道路の質的向上に向けたプロジェクト	モンゴル	ウランバートル市道路開発局、モンゴル地理学・地生態学研究所	北見市	7	6
2	キルギス国地域におけるフードバリューチェーンを活用した実践的な農業教育プロジェクト（地域活性化枠）	キルギス	キルギス国立農業大学付属農業技術カレッジ	士幌町	0	4
3	水産都市ダナンをけん引する人材育成プロジェクト	ベトナム	ダナン市農業農村開発局（DARD）	釧路市、釧路総合振興局	16	24

● 支援型

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	研修員受入実績	専門家派遣実績 （長期滞在）
					人数	人数
1	モンゴル国利用者目線バス運営ノウハウとAI・IOT技術提供によるバス事業改善プロジェクト	モンゴル	ウランバートル市他	一般社団法人 交通環境まちづくりセンター	0	0
2	ベトナム国ラムドン省における小規模農家による市場ニーズに対応した販路多角化プロジェクト	ベトナム	クウォックヴィエト経済技術専門学校	一般社団法人 北海道ホーブランドベトナム交流協議会	0	2（1）
3	ジョージア国ディスヴェリ村女性酪農協同組合における酪農技術向上プロジェクト	ジョージア	ジョージア酪農協会、ディスヴェリ村女性酪農協同組合	一般社団法人とかち地域活性支援機構	0	4

中小企業・SDGsビジネス支援事業

開発途上国の課題解決に貢献する日本の民間企業等のビジネスづくりを支援する事業です。

No	案件名	対象国	協力対象機関	提案団体	協力期間
1	軟弱地盤でスタックした農機・車輛等を迅速に引き上げるニーズ確認調査	パラグアイ	-	有限会社 アグリプロジェクト	2024年5月～2024年12月

世界の人びとのためのJICA基金活用事業

日本のNGOやNPO、任意団体が開発途上国の人びとの尊厳や生活を守るために行う国際協力活動を支援する事業です。

No	案件名	対象国	提案団体	協力期間
1	やさしい日本語とまちさんぽで築く防災共生の輪	日本（北海道帯広市、音更町、美幌氏、千歳市）	一般社団法人 にほんごさぼーと北海道	2024年12月2日～2025年9月30日
2	日本語能力試験（JLPT）受験集中コース	日本（北海道オホーツク管内（北見市地域））	北見YMCAいろはの会	2025年2月25日～2025年12月31日

開発教育支援事業

開発途上国の現状を知り、「環境」「食糧」「資源」など私たちの日常生活に身近なものと通じて途上国と日本とのつながりに気づき、途上国の抱える諸問題や地球規模の課題について考える機会を学生や生徒に提供する活動を支援するために、JICA北海道はJICA事業関係者の協力を得てさまざまな取り組みを行っています。

● 出前講座/センター訪問

JICA職員や青年海外協力隊OB/OG等が小中学校、高校、大学、その他の団体等を訪問し、国際協力の現場で学んだこと、開発途上国での生活を通じて学んだこと等を紹介しました。また、多くの学校・団体等にJICA北海道を訪問いただき（センター訪問）、国際理解教育のためのワークショップ等を行いました。

区分	事業	参加人数	学校及び団体名 *順不同
小学校	出前講座	442	釧路市立共栄小学校、北見市立南小学校、清水町立御影小学校、清水町立御影小学校 柏林台児童保育センター、帯広市立稲田小学校
	センター訪問	218	帯広市立川西小学校、音更町立音更小学校、音更町立鈴蘭小学校、児童デイサービス大樹学園
中学校	出前講座	139	別海町立上春別中学校、更別村立更別中学校、北見市立相内中学校 音更町立下音更中学校、帯広市立八千代中学校
	センター訪問	1524	帯広市全中学校（おびひろ市民学）、日高町立日高中学校、幕別町立幕別中学校 音更町立音更中学校、幕別町立糠内中学校、新得町立新得中学校
高校	出前講座	442	池田高等学校、帯広三条高等学校、音更高校、中標津農業高校、白樺学園高等学校 栗原学園北見商科高等専修学校、大樹高校
	センター訪問	164	白樺学園高等学校、池田高等学校、音更高等学校、上士幌高等学校、鹿追高等学校、 高文連十勝支部ボランティア専門部
大学/短期大学	出前講座	202	北海道教育大学釧路校
	センター訪問	52	韓国国民大学、帯広看護専門学校、帯広畜産大学
特殊学校	出前講座	-	-
その他団体	出前講座	211	北見市ことぶき大学博士会、更別村夢民講座、北見市ことぶき大学笑みの会 オホーツク国際理解教育研究会、更別村サンデーズカフェラオス紹介 佐呂間町寿大学、帯広大谷短期大学 等
	センター訪問	284	美幌町議会、瑠辺薬町内会長団、帯広市乳幼児学級、芽室町PTA連合会、音更町ライフスクール、 広野柏寿会 等

● JICA研修員学校訪問

各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育を支援する事業の一環として、JICA北海道（帯広）では、道東に在住する外国人が学校訪問を行い、地域の児童・生徒と交流するプログラムを行いました。交流を通して、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築き、道内に在住する外国人が、日本人とのコミュニケーションを図り、日本についての理解を深める機会としています。

No	訪問校	参加人数	JICA研修コース名
1	音更町立音更小学校	64名	自然環境行政官向けのエコツアーリズム
2	陸別町立陸別小学校	42名	灌漑施設の維持・運営管理
3	帯広市立南町中学校	204名	灌漑施設の維持・運営管理
4	帯広市立八千代中学校	16名	持続可能な食料システム戦略による地場産業振興
5	清水町立清水中学校	46名	地域住民の参加による持続的な森林管理
6	釧路市立鶴野小学校	74名	湿地生態系における自然を活用した社会課題の解決（ネイチャーポジティブな社会の実現に向けて）
7	帯広市立帯広第八中学校	130名	アジア地域フードバリューチェーン構築による地域アグリビジネス振興
8	置戸高等学校	9名	北見工業大学長期研修員
9	更別農業高等学校	30名	ラオス国 青年研修
10	白糠高等学校	57名	地熱掘削管理
11	帯広市立明和小学校	36名	人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化
12	幕別町立明倫小学校	6名	人獣共通感染症コントロールのための検査技術と研究能力強化
13	音更町立木野東小学校	90名	畜産物（乳・肉・卵）の安全・衛生・品質管理技術強化
14	鹿追町立瓜幕小学校	7名	畜産物（乳・肉・卵）の安全・衛生・品質管理技術強化
15	ぷちとまとほいくえんスマイル	20名	帯広畜産大学、北見工業大学長期研修員
16	柳町学童保育所	38名	帯広畜産大学長期研修員
17	緑園台学童保育所	70名	帯広畜産大学長期研修員

● 開発教育/国際理解教育指導者研修

教育現場での開発教育/国際理解教育の担い手である教員の方々を対象に、開発をめぐる様々な問題を理解し、学校現場での具体的な展開方法等を考えていただくことを目的とした「開発教育/国際理解教育指導者研修」を、教師海外研修事業と合同で開催しました。

● 教師海外研修

開発途上国の現場に訪問し、国際協力に関わる「人」や現地の「人」との出会いを通じた体験をもとに、参加教員がオリジナルの授業づくりを行うことと目的とし、2024年度はアフリカ・ザンビアを訪問しました。

渡航前の事前研修（開発教育指導者研修）を2回、帰国後の研修を2回実施。

北海道内より、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員8名、アドバイザー1名が参加しました。

※2024年度はJICA東北との合同開催のため、計16名の教員が参加。

項目	参加人数	実施日
JICA教師海外研修（ザンビア）事前研修① 札幌開催	30	2024/7/13-14
JICA教師海外研修（ザンビア）渡航直前研修 東京開催	18	2024/8/27
ザンビア現地研修	18	2024/7/27-8/4
JICA教師海外研修（ザンビア）事後研修 札幌開催	10	2024/9/14-15
JICA教師海外研修（ザンビア）成果報告会 帯広開催（対面・オンライン）	39	2025/1/11-12

● 教育庁・教育委員会との連携事業

JICA北海道と十勝教育研修センターとの連携による教職員対象の研修を実施しました。

項目	参加人数	実施日
十勝教育研修センター民間・地域に学ぶ仕事術① ～JICA帯広で世界と十勝のつながりを体験！	30	2024/8/7

● 小・中・高 国際協力体験プログラム

外国の生活や文化を知ることによって国際理解を深めることや、国際協力の現場について知り、世界の現状や何ができるのか考えてもらうためのプログラムです。外国の方との交流、青年海外協力隊の体験談、参加型ワークショップなど、小・中・高校生向けに各プログラムを用意しています。

項目	参加人数	実施日
“Think Globally, Act Locally” を実践する2日間	33	2025/1/8-1/9

● JICA北海道におけるインターン（職場体験学習）受入実績

人数	大学/大学院（学部/研究室）	実施期間	人数	中学校/高校	実施期間
1名	明治大学（情報コミュニケーション学部）	2025/2/7-2/20	1名	帯広市立川西中学校	2024/11/13-14
1名	早稲田大学（アジア太平洋研究科）	2025/2/3-2/14	1名	帯広第二中学校	2024/10/17
1名	社会人インターン	2025/2/3-2/14	5名	帯広南町中学校	2024/10/23-24
			1名	音更町立音更中学校	2024/10/17
			5名	白樺学園高等学校	2024/5/17 2024/5/24
			1名	池田高等学校	2024/6/11-13
			1名	上士幌高校	2024/8/29-30
			3名	音更高校	2024/9/26-27
			2名	鹿追高校	2024/10/9-10

● エッセイコンテスト

中学生と高校生が国際協力について考えるきっかけづくりとして、開発途上国や国際協力をテーマにしたエッセイを募集し、全国規模でコンテストを実施しました。2021年度は北海道から次の方々・学校が入賞しました。

	賞	タイトル	学校名
中学校の部	個人賞	国内機関長賞	未来の地球を守るために
	特別学校賞		標茶町立標茶中学校
	学校賞		
高等学校の部	個人賞	国内機関長賞	食料品の値段高騰について今の私達だからこそできること
	特別学校賞		北海道音更高等学校
	学校賞		

セミナー・イベント等

道民の方々に開発途上国の問題や日本との関係等について理解を深めてもらえるよう、各種セミナー、イベント等を実施しました。
また、地方自治体や大学、道内NGOの方々の国際協力に対するお手伝いを様々な形で実施しました。

● 市民向けイベント（主催・共催）

開発途上国について道民の方々に関心を持っていただくことを目的としたイベントを開催しました。

イベント名	実施日	参加人数	主催 共催
チョコっと！アフリカ （JICA海外協力隊2024年度春募集イベント@帯広）	2024. 4. 13	35名	主催
インターナショナルフェスタ in 網走 （JICA海外協力隊2024年度春募集説明会含む）	2024. 5. 26	500名	共催
JICAfe2024 in くしろ （JICA海外協力隊2024年度春募集説明会含む）	2024. 6. 16	140名	主催
世界のともだち2024	2024. 7. 6	1, 000名	共催
外国籍住民向け暮らしの安心安全ワークショップ	2024. 8. 14	70名	共催
きて・みて・発見！JICA海外協力隊&世界のともだちinしんとく	2024. 9. 7-8	310名	主催
第1回せかいのぱぱ・ママ交流会「世界の子育てを知ろう！」	2024. 9. 18	25名	主催
帯広畜産大学生向け地方創生コンペティション	2024. 9. 25, 30	17名	主催
入管セミナー2024 in とかち	2024. 9. 25	8名	主催
協力隊とつながりマルシェ・シーズン2 （JICA海外協力隊2024年度秋募集イベント@帯広）	2024. 9. 28	60名	主催
JICAfeリレー型オンラインサロン第1弾	2024. 10. 11	12名	主催
北見秋祭ブース出展 （JICA海外協力隊2024年度秋募集説明会含む）	2024. 10. 12-3	900名	主催
きて・みて・発見！世界のともだちinおびひろ菊まつり	2024. 10. 26-30	970名	主催
芽室町ミニJICA海外協力隊秋募集イベント	2024. 10. 26	25名	主催
上士幌町ミニJICA海外協力隊秋募集イベント	2024. 10. 31	27名	主催
JICAfe2024 in なかしべつ	2024. 11. 3	500名	主催
アグリフェスタ in とかち	2024. 11. 10	600名	共催
JICAfeリレー型オンラインサロン第2弾	2024. 11. 15	13名	主催
おびひろキッズタウン2024	2024. 11. 16	116名	共催
第2回せかいのぱぱ・ママ交流会	2024. 11. 16	30名	主催
更別村サンデーズカフェ内「ラオス交流会」	2024. 11. 23	30名	共催
全町教育まつり JICA多文化共生ブース（新得町）	2024. 11. 24	70名	主催
第2回外国籍住民向け暮らしの安心安全ワークショップ	2024. 12. 8	80名	共催
JICAfeリレー型オンラインサロン第3弾	2024. 12. 13	7名	主催
上士幌町海外協力隊グローバルプログラム最終報告会	2024. 12. 14	59名	主催
芽室町海外協力隊グローバルプログラム最終報告会	2024. 12. 18	53名	主催
講演会「現在の世界を知り、未来の十勝を考える」	2024. 12. 19	20名	共催
JICA海外協力隊ブラジル隊員とのライブ中継	2025. 1. 8	31名	主催
きて・みて・発見！世界のともだちinおびひろ氷まつり	2025. 1. 31-2. 2	1, 500名	共催

第3回せかいのぱぱ・ママ交流会	2025. 2. 5	32名	主催
国際フェスタ in とち2025	2025. 2. 8	540名	共催
第3回外国籍住民向け暮らしの安心安全ワークショップ	2025. 2. 23	50名	共催
オホーツクやさしい日本語講座	2025. 2. 25-6	90名	主催
World Caféで感じる海外の風 (JICA海外協力隊2025年春募集イベント@帯広)	2025. 3. 29	23名	主催

● JICA/大学連携講座

JICAでは連携協定を結んでいる帯広畜産大学で国際協力に関する連携講座を実施しました。

大学名	講座名	実施日	受講人数	担当 コマ数
帯広畜産大学	国際農畜産開発論	2024. 4. 25～2024. 6. 27	65	3
帯広畜産大学	キャリア教育II	2024. 10. 11	204	1
東京農業大学オホーツクキャンパス	Introduction to Bioindustry	2024. 4. 15	20	1

ボランティア事業

● 派遣実績(道東エリア)

○ 2024年度 新規派遣

形態	派遣国数	人数
青年海外協力隊（海外協力隊含む）	9	12
シニア海外協力隊	0	0
日系社会青年海外協力隊 （日系社会海外協力隊含む）	2	2
日系社会シニア海外協力隊	0	0
合計	11	14

※表敬訪問先が北海道の協力隊隊員
（他都府県出身者含む）

● 応募状況（北海道全域）

	春募集		秋募集	
	一般案件	シニア案件	一般案件	シニア案件
応募者数	46	2	26	0
合格者数	17	1	7	0

● グローカルプログラムの実施状況

受入団体	人数	期間
上士幌町・生涯活躍の町まちなみしほろ	3	10月～12月